

## 「鎖国」下の四つの窓口

名前 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

今日の問い

「鎖国」の下で、日本はどこを窓口にして外国や周りの地域と交わったのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

## 1 長崎と対馬

長崎・対馬

3 オランダ商館長が幕府に出した、海外のできごとの報告。

6 将軍の代がわりなどに、朝鮮から江戸を訪れた使節。

「鎖国」の下でも、日本は四つの窓口を通じて外国や周りの地域と交わっていた。幕府が直接

治めた <sup>1</sup> 長崎 には、オランダと中国の船が来航した。オランダ人は出島に、中国人は<sup>2</sup> 唐人屋敷 に住まわせ、日本人との交わりを限った。中国からは生糸や絹織物、オランダからは薬や書物などが輸入され、日本からは銀や銅が輸出された。オランダ商館長は、海外のできごとをまとめた <sup>3</sup> オランダ風説書 を幕府に差し出し、幕府はこれで世界の様子を知った。豊臣秀吉の出兵でとだえていた朝鮮との国交は、<sup>4</sup> 対馬藩 の <sup>5</sup> 宗氏 の仲立ちで回復した。対馬藩は朝鮮との貿易を許され、木綿や朝鮮にんじんなどを輸入した。将軍の代がわりなどには <sup>6</sup> 朝鮮通信使 が江戸を訪れた。通信使は江戸時代に12回来日し、数百人の行列は各地で人々に迎えられて、学問や文化の交流も行われた。

## 2 薩摩と松前

薩摩・松前

8 今の沖縄県にあった国。1609年から薩摩藩に支配された。

12 1669年、不利な交易に対してアイヌの人々が起こした戦い。

<sup>7</sup> 薩摩藩 は1609年に <sup>8</sup> 琉球王国 を攻めて支配下に置き、年貢も取り立てた。琉球王国は、薩摩藩に支配されながら中国への朝貢も続け、薩摩藩はこの貿易を通して中国の品物を手に入れ、大きな利益を得た。琉球は、将軍や琉球国王の代がわりごとに <sup>9</sup> 琉球使節 を江戸に送った。<sup>10</sup> 蝦夷地 (今の北海道など)では、<sup>11</sup> 松前藩 がアイヌの人々との交易を独占した。狩りや漁でくらしていたアイヌの人々のサケ・コンブ・毛皮などはわずかな米などと交換され、松前藩に有利な取引きだった。不満を強めたアイヌの人々は、1669年、シャクシャインを中心に <sup>12</sup> シャクシャインの戦い を起こしたが、松前藩にしずめられ、その後は支配がいつそう強まった。18世紀には、本州などから来た商人が開いた漁場で、厳しい条件で働かされるアイヌの人々も増えた。

| 窓口    | 長崎(幕府)  | 対馬藩    | 薩摩藩  | 松前藩    |
|-------|---------|--------|------|--------|
| 相手    | オランダ・中国 | 朝鮮     | 琉球王国 | アイヌの人々 |
| おもなこと | 貿易・風説書  | 外交・通信使 | 琉球使節 | 交易     |

できた  / 12